megumiマガ

Vol.46

2012.3月

春がそばにいるわ～
毛布をスッポリ
かぶらなくても
ポカポカするよ

果報は寝て待て…

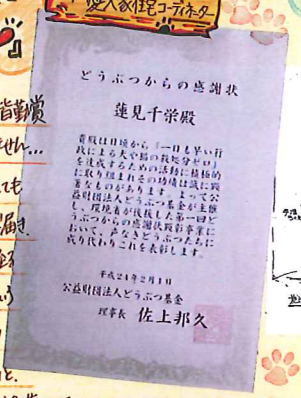
『黄(色)付いて気付いて…』

自分で育てて収穫して、すぐ食卓に…と流行っているのが台所で育てる小さな栽培セット。パセリ、シソ、ミニトマトなど多数です。いもも8月、台所の窓辺で『ミニトマト』を種まきから育てていました。その収穫までが時計回りの写真です。

栽培スタートから面白かったのが、種は10粒以上まいたのに、発芽はど真ん中に1本(笑)。間引きしたくて済むだのと、こうした写真のためには、ど真ん中でバランスもGood(笑)。毎日の変化が楽しみ…ゆっくりゆっくり大きくなって…でも思ったより実りが遅い(笑)。「もう実らないのか？失敗か？」と思った晩秋…大きくかくらんだ緑のトマト。

まるで宝石のビスイのようでした。実って1か月半…やっと黄色付いてきたので「早く熟して赤くなってね」と声をかけ…1月→2月へ…「熟すのにずいぶん時間かかるな～」ゆっくり熟すと美味しいかも」と、真っ赤なトマトを収穫するその日を想像しては ニヤリ…そんな折、2月8日…夜は大きな大きな満月の日…「まさか～!!」…そうです！…真黄色の満月の美しさに感動しながら…「まさかあのトマトは黄色のミニトマト???」と、育っているミニトマトが黄色で完熟のミニトマトだと気付いたのです！『トマト＝赤い』…なんと言う思い込みの強さ。黄色くなってから1か月…満月2月8日…すっかり旬をのがしてしまったトマトの収穫。けれども「思い込み、先入観で いい時期をのがす恐ろしさ」に気付いた感謝！旬は過ぎていましたが、ありがたく、とっても美味しかったです。アリガタヤ～ アリガタヤ～(笑)

感謝状に『感謝』



どうぶつからの感謝状

蓮見千栄殿

貴殿は日頃から「一日も早い行政による大や猫の殺処分ゼロ」を目指すための活動に積極的に取り組まれたその功績は誠に顕著なものがあります。よって公益財団法人どうぶつ基金が主催し、環境省が後援した第一回どうぶつからの感謝状授与事業において、ささやかながらどうぶつたちに成り代わりこれを表彰します。

平成24年2月10日

公益財団法人どうぶつ基金

理事長 佐上邦久

表彰…小学校の皆勤賞以来のことかもしれません…本年2月、右のようなとても うれしい感謝状が届き、併せて、この表彰に至るには、多くの方が「こういうところでこんな活動をしている人がいますよ！」と、この顕彰企画に推薦して下さったということを知り重ねてうれしく、有難く拝受…

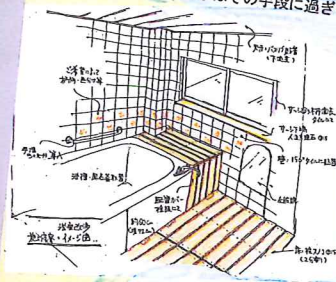
愛犬家として、愛犬家住宅コーディネーターとして、ボランティアとして…日常の中にある犬(猫)との暮らしの不安・悩み・ケガ・病気…飼いまたは共に考え、支え合うバを大切に、飼育放棄や命を軽んじたペットブームの防止へと、一歩一歩と努力を継続して参ります。また、この顕彰は、「過去3年の功績を対象とする」とのこと…このメグマガでこの犬コーナーを作ったら3年と重なります。皆様に支えて頂き、どうぶつから学び成長させて頂く日々…本当に「ありがとう」を申し上げるべきは私の方なのです…

心より感謝申し上げます。いも

ワンポイントアドバイスコーナー
by 愛犬家住宅コーディネーター

『聴いて…描いて…考えて…』

『浴室の改修工事』
…工事名で書けばこうなりますが、工事をすること自体が私たちの目的ではありません。お客様が求められるくつろぎや安堵を得ていただく事が目的であり、工事はその手段に過ぎません。



社長のフリーハンドスケッチ

これでお客様のイメージを再確認します。

当たり前ですがそのためには私たちがやりたいことをやってもダメです。お客様が求められることを良く聴いてそれを描いて 更によく考える。そのプロセスを経て 出来上がったものに価値が生まれるのだと思います。

スケッチ通りの完成!!

お客様にお喜びいただいてうれしい限りです。

・・・なんて書いていますが・・・ついつい自分のやっている事と、お客様の思いとのギャップに気付かないこともあり反省の日々です。。。

自戒の念を込めて・・・。

発行元
megumiマガ編集長 いも
恵建設株式会社
東京都新宿区新宿1-18-4
電話 3350-6689
FAX 3350-8186
お問合せ お待ちします